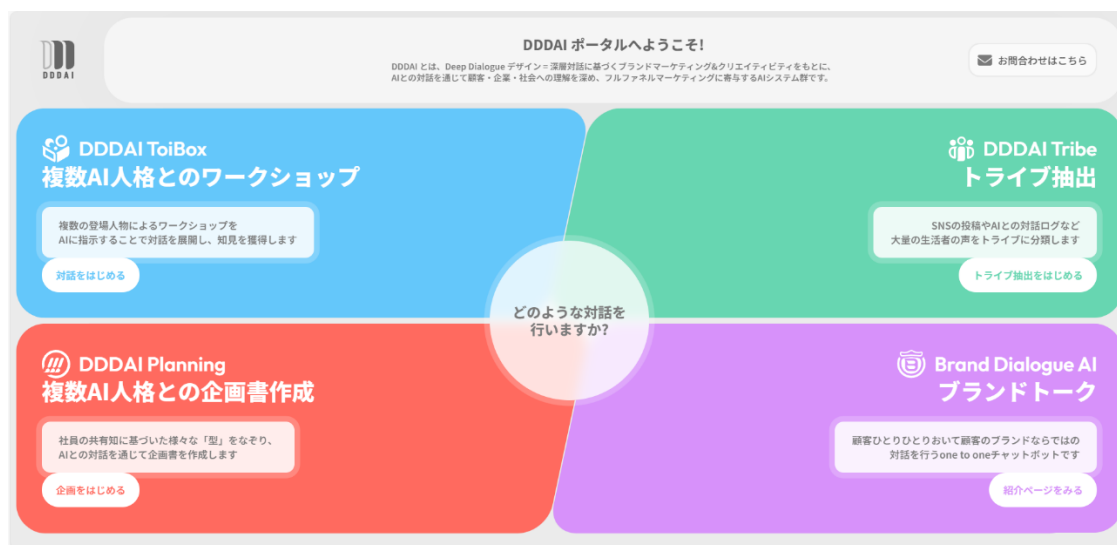




2024年(令和6年)9月10日

大広・大広 WEDO、顧客と AI との対話を通じた マーケティング支援プラットフォーム「DDDAI」を開発 ～SNS など顧客の声から顧客の姿を明らかにする「DDDAI Tribe」など、 生成 AI を活用し企業の顧客価値開発を支援～

株式会社 大広(本社:東京都港区、代表取締役社長:泉恭雄)と、株式会社 大広 WEDO(本社:東京都港区、代表取締役社長:大地伸和)は、生成 AI を活用し、SNS など顧客の声から顧客の姿を明らかにするなど、顧客や AI との「対話」を通じて企業のマーケティング支援を行うプラットフォーム「DDDAI(ディーディーディー エーアイ)」を開発したことをお知らせします。



「DDDAI」は、OpenAI※社の ChatGPT などの生成 AI を活用し、企業のマーケティング支援を行う AI ツール群を集約したプラットフォームです。AI&機械学習のスペシャリスト集団である株式会社 Laboro.AI(本社:東京都中央区)の支援で開発しました。

まずは当社グループ社員での利用を開始、クライアント企業へのマーケティング支援に活用してまいります。

※OpenAI とは米サンフランシスコに拠点を構える、AI(人工知能)を専門とする企業です。



【参考資料】

「DDDAI」に含まれるツールは、いずれも「対話」をテーマに設計されています。SNS などの「顧客同士の対話」を AI が分析し顧客の姿を明らかにする「DDDAI Tribe」、顧客と AI の対話を活性化させ CRM を支援する「BrandDialogueAI」、そして「AI と AI の対話」として AI 同士のワークショップにより新たな価値創出を支援する「DDDAI ToiBox」です。それぞれ単独でも活用できるほか、連携することでその価値を最大化します。

●DDDAI Tribe（ディーディーディーエーアイ トライブ）

SNS にあふれる多数の投稿など、「顧客の対話」のデータは世にあふれていますが、テキストデータとして取り扱いが難しく結果として定量的な分析は限界がありました。「DDDAI Tribe」は様々な声のデータを解析し、ブランド・商品にまつわる価値観の塊(トライブ)に分類、顧客の姿を明らかにする AI ツールです。

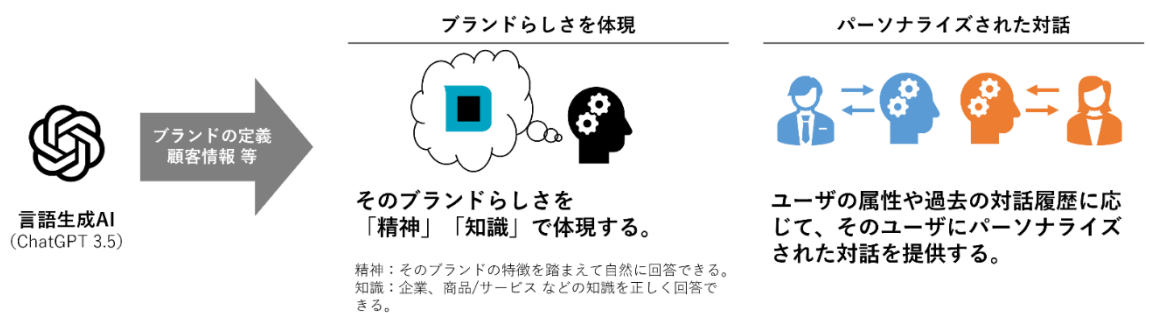
このツールは、ソーシャルリスニングのまったく新しい手法になるだけでなく、様々な「顧客の声」データにも活用することができ、顧客理解の新しいアプローチとなります。

●BrandDialogueAI(ブランドダイアログ エーアイ)

「BrandDialogueAI」は、ChatGPT にブランド人格を付与し、各企業が保有する顧客データや商品データ等を基にしたダイナミックプロンプト※技術を通じて、各顧客と One to One の対話を実施することができる AI チャットボットです。

このツールは、従来のチャットボットとは一線を画し「顧客との深い対話」を実現することができます。

※ダイナミックプロンプトは対話内容に応じて瞬時にプロンプトを入れ替える独自技術です。(特許出願中)



●DDDAI ToiBox（ディーディーディーエーアイ トイボックス）

「DDDAI ToiBox」は、特定のテーマに対して AI 同士のワークショップを行わせるツールです。議論が最も活発になる人格の組み合わせを AI 自身が考えることで、新たな発見やアイデアを高速に得るためのサポートとして機能します。



大広は、「顧客価値」をすべての活動の基準と捉えています。顧客価値とは、単なる顧客のニーズではなく、企業と、顧客と、社会をつなぐ真ん中にある価値であり、顧客がそのブランドに賛同する理由です。この「顧客価値」を導き出すためにこの「顧客価値」を導き出すために大切にしているのが、「Deep Dialogue デザイン(深層対話に基づく、マーケティング&顧客体験の設計思想)」です。「DDDAI」の特徴は、「顧客との対話」をマーケティングに活用する視点です。大量の声を収集し、ここから顧客の姿を分析し、新価値発見に活かすこれらのツールを活用し、大広と大広 WEDO は企業のマーケティング活動の全領域を支援してまいります。

【参考情報】

■株式会社 Laboro.AI 会社概要

会社名:株式会社 Laboro.AI(ラボロ エーアイ)

所在地:〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 11-1

代表者:代表取締役 CEO 椎橋徹夫

代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将

設立:2016年4月1日

ホームページ: <https://laboro.ai/>